

調査年月日：2020(R2)/07/16 (木)

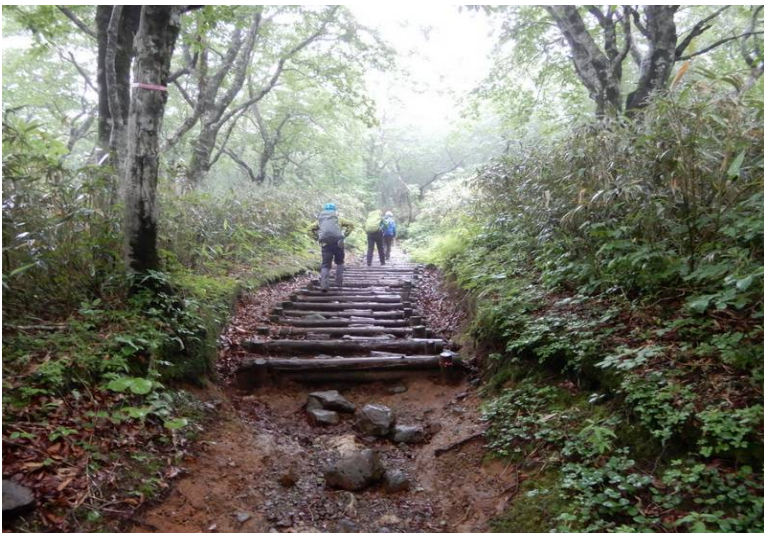
踏査区間：国見温泉口～横長根～御坪分岐～金十郎長根～男岳



(写真No.45) 金十郎長根:標高1,350m付近  
登山道を笹等が覆い足元が見えない  
あいにくのガスと強い風。右手に女岳溶岩流



(写真No.30付近:横長根から約800m付近)  
横長根～御坪分岐間は前年に刈払いされた情報あり



(写真No.9) 国見～横長根間 標高約960m地点  
木道と木階段、水切りが多く、手入れも入念  
担当の自然公園保護管理員のご尽力に敬意

〔メモ〕

文責：阿部丕顕

1 調査主眼点

- ① 登山道の状況（特に構造物）、危険個所有無
- ② 誘導標等の状況確認
- ③ 眺望地点等登山道の魅力再確認

2 調査結果

(1) 総括

- ・ 予報に反し生憎のガス等で視界不良だったが、変化のある山岳景観を存分に楽しめる素晴らしいコースを実感できた。

(2) 登山道の状況等について

- ・ 特に危険箇所は無いが、男岳直下と五百羅漢付近の急坂は要注意である。
- ・ 御坪分岐～男岳間の刈払いは未了だったが、登山道を見失う心配は少ない。

(3) 誘導標等について

- ・ 一部表示が消えなかったものや倒れている標柱もあるが、問題はない。

(4) 登山道としての魅力

- ・ 比較的なだらかで眺望良好。特に好天時には変化に富む火山等景観を楽しめるルートである。

(5) 参考

- ① 今回の行程 約6km (国見～男岳)  
所要時間約4時間 (休憩含む)

〈踏査参加者〉 (敬称省略)

環境省盛岡管理官事務所	工藤 紀恵
岩手山地区パークボランティア	広野 孝男
〃	民部田 勇
〃	阿部 丕顕

民部田勇氏は調査終了後、阿弥陀池畔で急逝されました。同氏のこれまでの登山道現況調査やパークボランティア活動等への多大なるご協力・ご貢献を深謝いたしますとともに、ご冥福をお祈りいたします。(調査参加者一同)



調査出発前に記念の一枚。あいにくの小雨混り濃霧



国見温泉登山口



(写真No.1) 擬木階段



「秋田駒ヶ岳登山案内図」(環境省)

登山者名簿受入箱



秋田駒ヶ岳登山口看板(磐石営林署)

「標高約850m、駒ヶ岳まで約5km」表示



(No.2) 木橋(L≒2m)



(No.3) 泥濘区間の対策



(No.4) 水切り手入れ完璧  
流末まできれいに整備



(No.5) 新しい木歩道



(No.6)



(No.7) 木道一部腐朽  
歩行に支障なし



(No.8) 木段



(No.10)



(No.11)



(No.12) 木段の間詰  
しっかり手入れされている



(No.13)



(No.14)



(No.15) 木道腐朽だが歩行に支障なし



(No.16)



(No.17)



(No.18)



(No.19) 木道腐朽  
歩行に支障なし



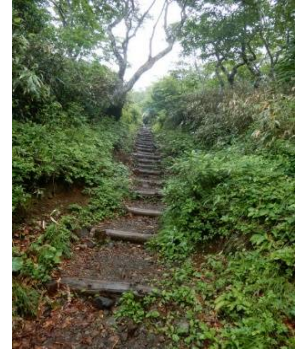
(No.20) 自生の杉?  
(コース唯一の杉)



(No.21) 巧みな水切り  
掘れた登山道側壁に水勾配の排水路



(No.22) 登山道状況



(No.23)



(No.24) 水切り 登山道側壁を切欠き排水



(No.25)



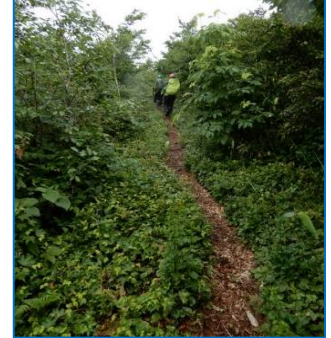
(No.26) 横長根



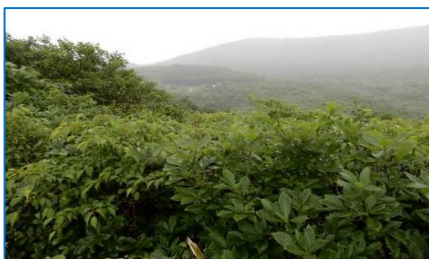
標柱 (岩手県) 「横長根(1175)」 「横岳、大焼砂→」  
「←金十郎長根、御坪分岐」 「↓国見温泉1.5km」



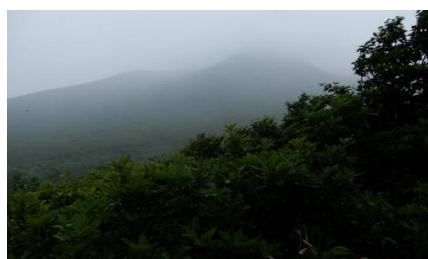
(横長根で小休憩)



(No.27) 横長根から約150m付近



(No.28) 姿見の池眺望



(No.29) 同左地点から女岳方向



(No.30)



(No.31)



(No.32) 苔むした標石  
何の表示か不明



(No.33) 正面に金十郎長根



(No.34) 小さな沢  
大きな転石を渡る



(No.35)



(No.36) 御坪分岐手前約100m付近から東方眺望  
女岳は雲の中、わずかに裾野が見えた



(No.37) 横長根付近眺望



標柱(秋田県)「御坪分岐」  
「←中生保内口(白滝経由)8.0km」  
「←男岳3.0km」「横岳4.5km→」



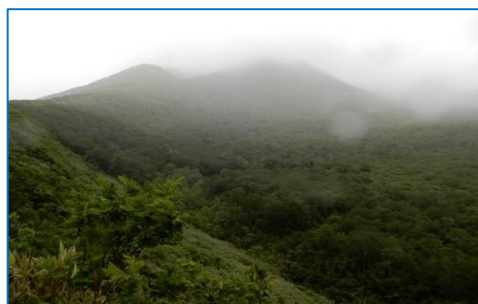
(No.38) 御坪分岐直上部  
分岐から上部は刈払い未了のため、登山道が草木に覆われるが  
登山道を見失う心配は少ない



(No.39)



(No.40)



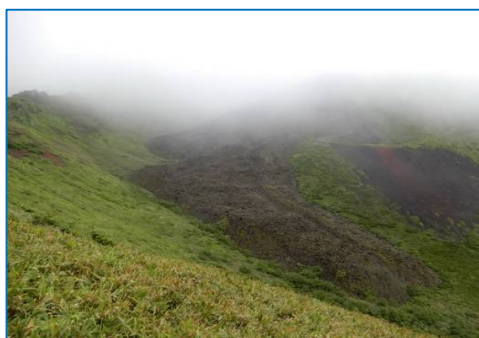
(No.40-1) 金十郎長根、上部は雲の中  
(男岳は見えていない)



(No.41) 標高約1,170mで調査中  
(奥のピークは水沢分岐?)



(No.43) 笹や灌木が覆う  
足で登山道を探りながら



(No.44) 標高1,350m付近  
女岳溶岩流が眼下に



(No.46) 水沢分岐手前約80m付近から  
左手に田沢湖が間近に見える



水沢分岐、背後に田沢湖



標柱 (秋田県) (倒れている)  
「水沢分岐」



「↓白滝SHIRATAKI 2.1km」 「男岳ODAKE 1.0km→」  
「←水沢MIZUSAWA 3.0km」



標柱「五百〇〇」 (文字消えかかる)  
「男岳30分→」 「←白滝60分」



(No.47) 「五百羅漢」直下の急坂迂回路  
高低差下り約9m、登り約13m



(No.48) 稜線上に屹立する「五百羅漢」  
(迂回路は女岳側)



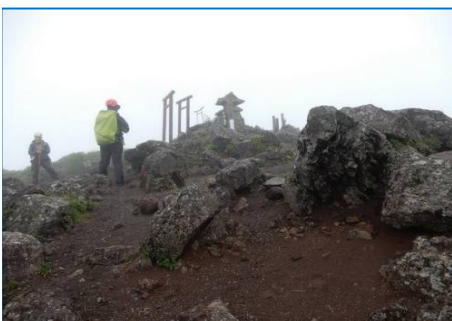
(No.49) 標高約1,430m付近  
登山道は矮小笹類に覆われる



(No.50)



(No.51) 「女岳→」のペンキ表示



男岳山頂 (今回調査終点)



男岳山頂にて



ハクサンシャクナゲ



オノエラン



男岳北東斜面 (ムーミン谷側) の  
ニッコウキスゲ群落開花最盛期